

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.26 観光プロジェクト会議設置			担当課	商工振興課		予算費目名	款 07	項 01	目 02
事業概要 及び目的	本市における観光の現状と課題を踏まえ、新たな本市にふさわしい都市型観光の推進に必要な事項を調査、研究し、産学民官連携による観光の振興と本市の産業振興に寄与する。			成果指標 観光入込客総数	年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	
					予算額 (単位: 円)	50,000	20,000	122,000	—	
					決算額 (単位: 円)	14,175	6,780	73,808	—	
					従事職員数	2	4	2	—	
事業の 位置づけ	章	4	活気あふれるいきいきとしたまち	★左記施策(号)との結び付き 産学民官の連携による観光の振興を図るとともに同会議を通じて、本市が有する資源の価値の再評価や新たな資源の発掘、並びに商業の活性化による活力あるまちづくりに寄与する。	従事延べ日数	39	156	260	—	
	節	1	商業、工業、農業の振興		民間活力の導入	現状は？： <input type="checkbox"/> 実現している <input checked="" type="checkbox"/> 将来可能性はある <input type="checkbox"/> 将来困難だが可能性はある <input type="checkbox"/> 余地なし				
	項	1	商業、工業、農業の振興			相手は？： <input checked="" type="checkbox"/> 市民 <input checked="" type="checkbox"/> 市民活動団体 <input checked="" type="checkbox"/> 企業・学校等				
	号	4	観光の振興			形態は？： <input checked="" type="checkbox"/> NPO				

2. 進捗状況

平成 21 年 7 月 14 日記入					平成 22 年 6 月 7 日記入					平成 23 年 4 月 22 日記入				
年度	21 年度評価 (20 年度実施した事項についての評価)				22 年度評価 (21 年度実施した事項についての評価)				23 年度評価 (22 年度実施した事項についての評価)					
実施計画上の予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画上の 予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画上の 予定	実施	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由
完了した事項	・観光プロジェクト会議の設置及び会議の開催 (1 回)			★継続している事項、 未着手事項がある理由 今後の会議の進展により、取り上げていくため	・下記のワーキングチームを設置し、調査研究を実施した。 ② 新たな観光資源の発掘及び観光ルートの整備について ① 地域ブランドの創出について ② 新しい発想の観光振興の研究について ③ 観光推進組織づくりについて ・関係各課へ出席要請を行い、オブザーバーとして会議に参加している				関係各機関との連携と情報交換の充実及び先進事例の研究・学習会の実施を今後予定していく					
継続している 事項	・(なし)				・引き続き観光プロジェクト会議を開催し (計 8 回 22 年 6 月時点)、調査・研究を行っている。				・観光プロジェクト会議を開催 (計 10 回) ・「まちづくり観光セミナー」開催 ・先進都市「浦安市視察」 ・平成 22 年 10 月に「習志野市観光プロジェクト会議提言書」を市へ提出					
未着手事項	・地域ブランド (ふるさと産品) 創出の支援 ・観光資源発掘チームの設置				・				・リーディングプロジェクトの取組み (平成 23 年 2 月習志野物語～交流編の実施)					
改善案	関係課に会議への出席依頼を行う。			成果指標 実績値 1,437千人 達成率 93%	専門家による講義やアドバイザー派遣による外部識者の意見を取り入れながら事業の推進を図る必要がある。				成果指標 実績値 1,469千人 達成率 95%	成果指標 実績値 959 千人 達成率 62%				

3. 今後の方向性

※課内協議を経て管理職が記入してください。					平成 21 年 7 月 30 日協議 実施					平成 22 年 6 月 10 日協議 実施					平成 23 年 4 月 26 日協議 実施				
今後の方向性	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止	○	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止	○	成果の方向性	拡充	現状維持	縮小	休廃止	○	
	*根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか?なぜその「コストの方向性」をえらんだか?別紙「評価の視点」を参照してください。					★上記を選択した根拠 ・観光の振興は産業の活性化をもたらすもので、住んでよかった、また、住みよいまちづくりにつながるため。					★上記を選択した根拠 ・観光推進組織の立ち上げも視野に入れながら、事業を推進する必要があるため。					★上記を選択した根拠 観光プロジェクト会議から提言された、まちづくり観光の振興は、平成 22 年の見直しで実施された習志野市産業振興計画に位置付けられている。			
方向性を実現するため実施すること (改革案)	・関係各課の会議への出席の実現 ・関係各機関との連携と情報交換の充実 ・先進事例の研究、学習会の実施					・専門家による指導を受けながら事業の推進を図る必要がある。					・まちづくり観光推進のための行政計画としての「習志野市観光振興プラン」の策定が必要となる。								
前年度改革案の実施状況	□実施 □一部実施 □検討中 ■その他 ★実施以外は具体的に記載してください。 平成 20 年度実施予定事業のため無し。					■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。					■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。								